

広島市の漁業

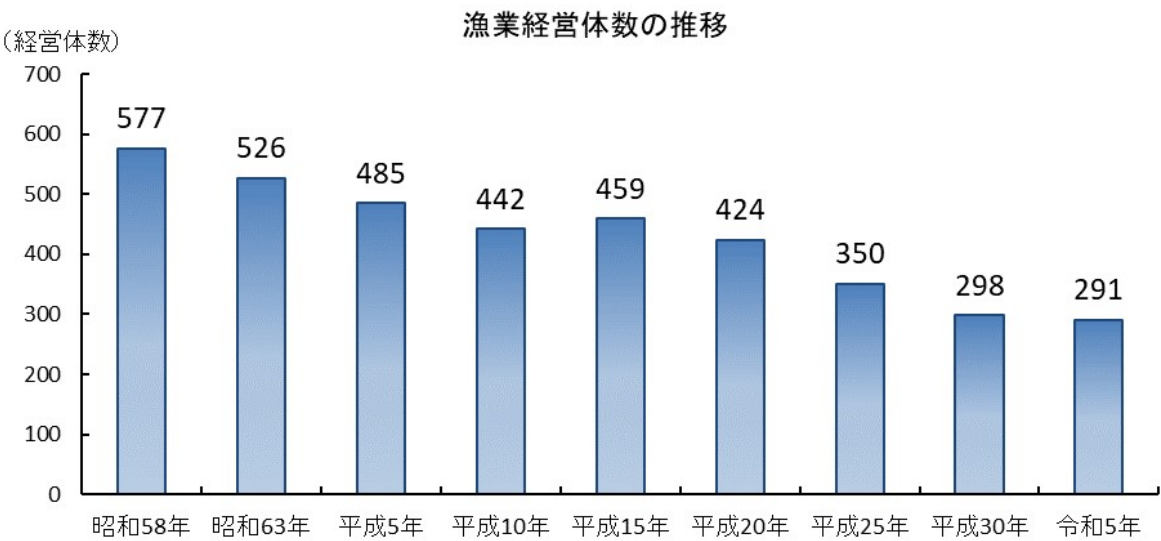
(2023 年 漁 業 セ ン サ ス 結 果 の 概 要)

令和 5 年（2023 年）11 月 1 日現在で実施した漁業センサスについて、広島市における調査結果の概要をまとめました。

この資料の数値は、現在の市域によるものです。

1 漁業経営体

海面漁業経営体数は、291 経営体で前回調査（平成 30 年（2018 年））と比べると、7 経営体（2.3%）減少しました。



2 漁業地区別の状況

漁業地区別にみると、広島南が 151 経営体で最も多く、次いで広島西の 56 経営体となっており、この 2 漁業地区で全体の約 71%を占めています。

表 1 漁業地区別経営体数

漁 業 地 区		単位：経営体，%		
		平成 30 年	令和 5 年	増 減 率
総	数	298	291	△2.3
矢	野	9	36	300.0
船	越	5	2	△60.0
広	島 南	169	151	△10.7
広	島 中	47	41	△12.8
広	島 西	60	56	△6.7
五	日 市	8	5	△37.5

注 「漁業地区」とは、市区町村の区域ごとに、農林水産省が設定したものです。

3 漁業種類別の状況

主として営んだ漁業種類別の経営体数をみると、海面漁業が 230 経営体（全経営体数に占める割合 79.0%）、海面養殖が 61 経営体（同 21.0%）となっています。

そのうち、海面漁業では、「釣」が 147 経営体（同 50.5%）で最も多く、次いで「その他の漁業」が 56 経営体（同 19.2%）となっています。

海面養殖では、「かき類養殖」が 47 経営体（同 16.2%）で最も多くなっています。

表 2 主として営んだ漁業種類別経営体数

単位：経営体，%

主として営んだ漁業種類		実 数		構 成 比		増 減 率
		平成 30 年	令和 5 年	平成 30 年	令和 5 年	
総	数	298	291	100.0	100.0	△2.3
海	面	243	230	81.5	79.0	△5.3
	底	14	5	4.7	1.7	△64.3
	船	—	—	—	—	—
	ま	—	—	—	—	—
	刺	35	19	11.7	6.5	△45.7
	定	—	—	—	—	—
	そ の 他 の 網 漁 業	—	—	—	—	—
	は	6	2	2.0	0.7	△66.7
	釣	146	147	49.0	50.5	0.7
	採 貝 ・ 採 藻	14	1	4.7	0.3	△92.9
	そ の 他 の 漁 業	28	56	9.4	19.2	100.0
海	面	55	61	18.5	21.0	10.9
	ぶ	—	—	—	—	—
	ま	—	—	—	—	—
	ひ	—	—	—	—	—
	そ の 他 の 魚 類 養 殖	—	—	—	—	—
	か	47	47	15.8	16.2	0.0
	く	—	—	—	—	—
	わ	7	12	2.3	4.1	71.4
	の	—	—	—	—	—
	真	1	—	0.3	—	—
	そ の 他 の 養 殖	—	2	—	0.7	—

注 主として営んだ漁業種類は、漁業経営体が過去 1 年間に営んだ漁業種類のうち、漁獲物・収穫物の販売金額が 1 位の漁業種類をいいます。

4 その他

○ 単位未満は四捨五入したため、総数とその内訳の合計は必ずしも一致しません。

○ 問合せ先：広島市企画総務局政策企画課統計分析係

（広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号， TEL082-504-2012， FAX082-504-2029）